

日本システム技術がグループの一員となりました

インテックは3月31日、横河電機から
日本システム技術の全株式を取得しました。

社長
メッセージ

日本システム技術(NSG)は狙いを定めた領域で事業を特化し、専門性の高い業務ノウハウと技術を蓄積しています。NSGの事業領域は新聞社、FA、計測制御の3分野を柱としています。

- 新聞社 「組版」「広告」「メディア」関連システムを提供
- FA 生産性を高める「半導体工場管理システム」、「電子部品工場管理システム」などを株式会社デンソーの半導体工場をはじめとした大手工場に提供
- 計測制御 自動車等の開発に必要な「騒音振動分析システム」などを提供

NSGのDNAは「人のやらないことをやる」です。ICT大手のインテックのシステムと当社のシステムのシナジー効果でビジネスを展開してまいります。



日本システム技術株式会社
代表取締役社長
二階堂 博

■日本システム技術株式会社

本 社 東京都港区虎ノ門1-17-1(虎ノ門5森ビル)
T E L (03)3595-6760
資 本 金 2億円
代 表 者 代表取締役社長 二階堂 博
従 業 員 数 130名(2010年4月1日現在)
売 上 高 3,089百万円(2009年3月期)
主 要 事 業 内 容 ●半導体・電子部品製造における工程・設備・生産管理等のトータルシステム開発
●新聞制作システム、メディアシステムの開発・販売
●振動騒音計測、非破壊検査自動化のシステム開発・販売など

U R L <http://www.nsgnet.co.jp/>

インテック

Salesforce CRMとシームレスに連携 コールセンター構築パッケージ「CTI-One」に 新オプション

インテックは、クラウド型CRMサービスでトップシェアの「Salesforce CRM」とインテックのコールセンター構築パッケージ「CTI-One for Aspire (以下、CTI-One)」を連携するための「CTI-Oneアダプタ」の提供を1月より開始した。CTI-Oneは中小規模コールセンター向けの低価格で高機能な構築パッケージ。Salesforce CRMと連携させるには、これまで個別の開発が必要だった。

本アダプタをオプション追加することにより、コールセンター業務に必要なCTI機能がSalesforce CRMの画面に統合できる。オペレータは、着信時に一つの画面上でお客様名や住所、購買履歴の参照や登録などの一連の操作ができ、お客様のニーズに即した応対を効率よく行えるようになる。

なお、CTI-Oneアダプタは、セールスフォース・ドットコムより、Salesforce CRMと連携可能なソフトウェアとして正式認定を受けている。

お問い合わせ先：インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

クラウド・スコープ・テクノロジーズ

エージェント不要で仮想サーバやサービスを監視 PATHMANAGER MoonWalker を発売

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、ネットワーク上のサーバやサービスの状態をエージェント(監視対象機器上に設置する監視プログラム)なしで監視できる「PATHMANAGER MoonWalker」を1月より提供している。

メールやWebサービスの稼働状態の監視や、障害発生時の通知、消費電力など監視数値のグラフ化、仮想環境を含む複数サービスへの影響監視など、ユーザーは利用したい機能を選択することができる。従来は様々な機能を持つエージェントを対象機器に設置して管理する方法が主流だった。MoonWalkerは機能ごとに特別なソフトを購入・インストールする必要がなく、簡単に低コストな管理を実現している。

また3月には、JCN埼玉の協力を得て、ケーブルテレビ網を効率的に監視する製品「PATHMANAGER MoonWalker CATV Solution」を開発した。モデムの接続状況の値を監視することで、見えない障害を検知し接続が切れる前にアラームで通知するなど、ケーブルテレビのサービス品質の向上に必要な機能を備えている。

お問い合わせ先：クラウド・スコープ・テクノロジーズ TEL:(03)3403-8321

インテック

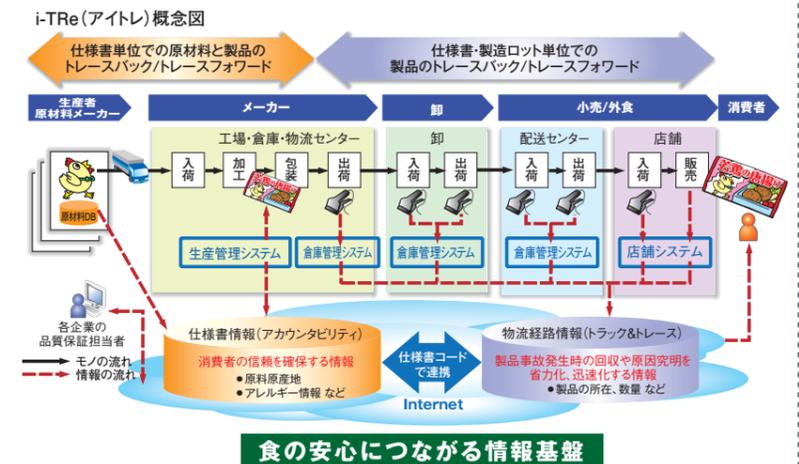
食の安心につながる情報基盤「i-TRe(アイトレ)」 クラウド型のトレーサビリティサービス

インテックは、食品流通業界向けにクラウド型のトレーサビリティサービス「i-TRe(アイトレ)」を提供する。説明責任(アカウントビリティ)を果たすための情報の収集・管理と、流通履歴を把握できるトラック&トレースの仕組みを実現する。第一弾として4月より、サプライチェーンに關係する企業や消費者が、製品情報を共有できる「製品仕様書サービス」の提供を開始した。

食品流通業界では、原産地やアレルギーなど食品に関する情報の収集管理と、流通履歴が把握できる仕組みが求められている。しかし、各企業が独自に仕組みを構築しても、サプライチェーン全体では企業ごとに情報が分断されてしまうという課題があった。

「i-TRe(アイトレ)製品仕様書サービス」はSaaSで提供するため、サプライチェーンのすべての関係者が製品仕様書情報を一元的に管理・共有できる。情報は生産者やメーカー、卸などの取引先に入力してもらうが、そのための

お問い合わせ先：インテック 流通BMS事業推進室
TEL:(03)5665-5053 e-mail: i-tre_info@intec.co.jp



食の安心につながる情報基盤

インテック

子どもたちに「職人のやりがい」と「ものづくりの楽しさ」を インターネット活用教育実践コンクールで優秀賞

インテックが協力する「インターネット市民塾」の活動が、文部科学省主催の「第10回インターネット活用教育実践コンクール」社会教育部門で優秀賞を受賞した。このコンクールは、インターネットを有効に活用する優れた教育実践事例を表彰、全国に広く紹介することで教育の情報化の推進を図ることを目的に毎年開催されている。

今回受賞したのは、「手仕事に学ぶ子どもたちのキャリア教育支援ネットワーク」。インターネット市民塾の全国ネットワーク組

■NPO法人 地域学習プラットフォーム研究会 <http://shiminjuku.org/>

インターネット市民塾が尾道、京都府和束町でもスタート

■広島県尾道市 「尾道インターネット市民塾」 <http://shiminjuku.org/onomichi/>
■京都府和束町 「茶源郷和束」 <http://www.wazuka-chagenkyo.jp/>



本焼包丁の職人さん取材

組織「地域学習プラットフォーム研究会」が推進する活動で、地域に根ざした手仕事を取材し、ネット上に「e-手仕事図鑑」を構築。職場体験学習とICTを活用した交流学习によって、子どもたちがものづくりの面白さ、職人のやりがいや生きがいを学び、将来の職業を考えることを支援している。平成17年に富山インターネット市民塾で始まった活動が、和歌山、徳島、高知などに広がっており、さらに各地へ展開することが期待されている。

※ICTを活用して幅広い世代の知識発信・交流の場を提供する地域人材活性化プラットフォーム。インテックが提案・開発し、平成11年に富山インターネット市民塾からスタート、全国各地に広がっている。インテックは、インターネット市民塾システムやそのASPサービス、運用遠隔支援サービス、コンサルテーションなどを提供し、運営を支援している。

インテック

富山第一銀行の新勘定系ホストコンピュータが稼働
インテックが開発・移行を担当

富山第一銀行は5月6日、勘定系ホストコンピュータを更改し稼働させた。インテックは既存システムの開発を全面的に担当しており、今回の更新にあたっては、システム開発および移行を担当している。ホストコンピュータには富士通の最新鋭機が導入された。

同行では今後、新たな営業店システムの導入、オンライン回線のネットワーク見直しなどを実施してシステム基盤を一層強化し、お客さまへのサービス向上を図ることとしている。

今回の更改にあたり、献身的な支援によって、無事稼働することができたとして、インテックは感謝状を拝受した。



富山第一銀行の金岡純二会長(中央右)、横田格頭取(中央左)、インテックの金岡克己社長(右)、富士通の生貝健二副社長(左)

フラッシュニュース

■インテック

ホーユーから「生産・原価管理システム(MCFrame/Pharma)導入・保守」で感謝状(1月29日)

■インテック

日立製作所からJP1アライアンス賞を受賞(3月1日)

■インテック

平成22年度入社、190人が入社(4月1日)

■インテックシステム研究所

インテック・ネットコアを吸収合併
クラウドコンピューティングに向けた研究開発力を強化(4月1日)

■ネクスウェイ

多店舗運営支援ポータル「店舗matic」に「利用状況レポート機能」追加(4月8日)

■インテック

日本ヒューレット・パッカートのシングルサインオン製品と連携し、ID情報の統合管理を実現する「INTEC ID Provisioning Tool for HP IceWall」を発売(5月より)

■インテック

北陸電力と共同で設立した株式会社パワー・アンド・ITのデータセンターが起工(5月10日)

ネクスウェイ

ドキュメントデリバリーWebLinkサービス
マルチメディア配信とWebサイト運営をSaaSで一元管理

ネクスウェイは、メールやFAXによる情報配信と会員向けWebサイト運営を一元管理できる「ドキュメントデリバリーWebLinkサービス」を2月より提供している。会員向けWebサイトの運営と、メールやFAXでの情報提供を別々に行っている企業の業務効率化やコスト削減を支援する。

ネクスウェイはFAXを利用した企業間の販売促進サービスで約8,000法人への導入実績がある。利用者に調査したところ、①FAXやメールでキャンペーンの案内やニュースを配信しているが、Webサイトに同じ内容を掲載する際に時間や手間がかかっている、②Webサイトへのアクセス管理とメールやFAXの配信を一元化していないため、販売促進の効果が把握できていないなどの課題があることがわかった。

本サービスによって、Webサイトにコンテンツを掲載すると同時に販売促進PDFコンテンツが自動作成されるため、メールやFAX、文書の発送に関する業務を大幅に削減できる。アンケートや資料請求などのエントリーフォームをテンプレートで担当者が簡単に作成することもできる。

また、配信先の反応を把握できるので、興味のある情報や希望メディアを会員データベースにタイムリーに反映したり、自動で情報を送り分けることもでき、配信先とのコミュニケーションの活性化を支援する。

お問い合わせ先: ネクスウェイ TEL: 0120-341-890 e-mail: clp@nexway.co.jp

インテック

クラウド環境に適応
Web対応電子帳票システム「快速サーチャーGX」発売
グラフやバーコードも、そのまま表示

インテックはWeb対応の電子帳票システム「快速サーチャーGX」を開発し、6月から販売を開始した。インテックの快速サーチャーは、主にホストコンピュータやオフィスサーバから出力される大量の帳票を一元管理し、瞬時に検索・閲覧できるシステムで、約1,300社のお客さまに利用されている。

「グラフやバーコードなどのイメージ帳票やPDF帳票にも対応してほしい」というお客さまのご要望に応え、「快速サーチャーGX」では、画像やバーコードを含んでも元の帳票をそのままに表示し、検索や印刷ができるようにした。

また、ブラウザのみで検索、閲覧することができ、クラウド環境での利用にも適している。社内の電子帳票化だけではなく企業間・グループ間での帳票公開など、さまざまな分野でサービスとして利用することができる。

お問い合わせ先: インテック ビジネスプロダクトソリューション部 TEL: (03)5665-5140

インテック

企業改革成功のためのノウハウを社員が執筆
『プロフェッショナルCIOの教科書』

インテックの桐谷恵介シニアコンサルタントが、企業のCIO(Chief Information Officer)向けの書籍『プロフェッショナルCIOの教科書』を執筆(共著)した。改革の推進役である「CIOの仕事」に必要な知識と知恵を盛り込んだオリエンテーション・ガイドブックである。

CIOの役割はすでにIT限定ではなく、企業改革の推進者(Chief Innovation Officer)となっており、その成功のカギは、業務改革、意識改革、情報改革が三位一体となったイノベーションであると本書では主張している。

インテックはそのためのコンサルティング・サービス「i-グランドデザイン」を提供

している。i-グランドデザインは、企業が全社的な情報改革を行う際の全体計画の策定を支援する方法論であり、すでに30社以上で採用されている。本書では、その概要と実際に活用されたお客さまの声も紹介している。

お問い合わせ先: インテック
コンサルティング事業部 TEL: (03)5665-5025 e-mail: info_consulting@intec.co.jp



■プロフェッショナルCIOの教科書
(中央経済社)
■著者
●甲斐荘 正晃(株式会社KAINOSHO)
●桐谷 恵介(株式会社インテック)

桐谷 恵介
コンサルタント・チームを率いて、業務改革、業務プロセスの整流化・標準化、内部統制導入支援、情報システム企画等のコンサルティング業務に携わる

インテック

結人/Password Sync発売
Active Directoryのパスワード同期を
簡単、正確、低価格に

企業内の様々なシステムのID情報を一元管理するソリューションとして、インテックは「結人」を提供している。この新たなラインナップとして、Active Directoryのパスワード同期に特化した「結人/Password Sync」を2月に発売した。

Windowsのパスワード変更機能でメンテナンスされたパスワード情報をLDAPなど社内の各システムに自動で同期する。利用システムの増加に伴って煩雑になるパスワードの管理を正確に簡単に行う。同期対象をActive DirectoryのIDとパスワードに限定することで、低価格で提供できるようにした。

お問い合わせ先: インテック N&O事業推進部
TEL: (045)451-2398

インテック

IBM iのログ取得ツール「iSecurity」と
ログレビが連携

三和コムテックとインテックは3月、統合ログ管理分野で協業した。IBM i(System i, iSeries, AS/400)向けに三和コムテックが提供するセキュリティソリューション「iSecurity」と、インテックの「快速サーチャーLogRevi(ログレビ)」を連携させる。

iSecurityで取得したIBM iのアクセスログとシステム操作ログをLogReviに取り込むことで、大量のログをスピーディに検索、可視化することができるようになる。

お問い合わせ先:
インテック ビジネスプロダクトソリューション部
TEL: (03)5665-5140